

福祉文教常任委員会所管事務調査報告書

令和7年5月20日

別海町議会議長 西 原 浩 様

福祉文教常任委員長 外 山 浩 司

福祉文教常任委員会における所管事務調査に係る福祉文教常任委員会協議会の協議結果について、次のとおり報告します。

記

1 開催日時

(1) 第2回常任委員会

令和7年5月20日（火）10時から14時30分まで

(2) 第2回常任委員会協議会

令和7年5月20日（火）14時40分から15時20分まで

2 開催場所

委員会室2・3

3 出席委員

外山委員長、横田副委員長、中村委員、田村委員、貞宗委員、伊勢委員、吉田委員

4 欠席委員

なし

5 委員外

西原議長（午後から出席）

6 調査事件及び協議結果

(1) 子ども・子育て支援について（福祉部）・・・調査継続

①保育サービスの充実について

上春別へき地保育園は、認可定数30名に対して在籍が12名、西春別へき地保育園は認可定数20名に対して在籍が5名と、へき地保育園の認可定員数と実数との差が大きいことから、今後、認可定員数の見直しが必要ではないかとの意見が出された。

また、全町的には、入園希望人数に対して受け入れ可能数は足りているが、希望する保育園に入れないケースがあり、兄弟で別々な入園になる場合もある。

こういった場合は、待機児童といった扱いにはならないが、希望する保育園に入

れないことは問題である。

0歳から3歳未満の預かりが行われているのは、別海保育園と上西春別保育園だけで、上春別や尾岱沼から別海へ通う子供もいる。

これらの状況を解決するための方策について、引き続き調査をしていく。

②保育士の確保について

保育士の成り手不足が続いており、今後、介護福祉士のように、外国籍の保育士の雇用も視野に入れて進める必要があると考えられる。

保育士確保のため、給料の面からも働きやすい環境づくりが必要である。

また、町内には、3つの保育所型認定こども園と4つのへき地保育園があるが、子供の人数が減っている現状を鑑みると、将来的に園の存続について、地域との話し合いが必要になる地域が出てくるものと考ええる。

なお、西春別小学校、西春別中学校の閉校と共に、西春別へき地保育園も令和8年に閉園を予定しているとのことである。

これらのことから、保育士の確保と、各園の存続のバランスなどについて注視しながら、引き続き調査をしていく。

(2) 子ども・子育て支援について（保健生活部）・・・調査継続

①産後ケアの充実について

尾岱沼の「うたせ屋」でも産後ケアの受入れが開始されるなど、受入れ施設が広がっていることは良いことである。さらに、町内で活用できる旅館等があれば積極的に広げていってほしい。

家庭の都合や家族の理解不足で、産後ケアを受けたくても受けられない母親への支援が必要である。

特に経産婦で兄弟がいる場合、例えば、有料（高額にならない程度）であっても、上の子も預けることができるようにするなど幅を広げる必要があるのではないかな。

今後は、受入れ状況などを引き続き調査していく。

(3) 町立別海病院の運営について（別海病院）・・・調査継続

令和6年度において、これまでは約8億5千万円から9億円だった町からの繰入額が約11億円に増えており、これは、医師の退職に伴い入院・外来共に患者数が減少していることが大きく影響している。

尾岱沼と西春別駅前診療所の医師が確保できたことは喜ばしく、別海病院の医師の確保にもさらに力を入れてほしい。

医師不足の現状を鑑み、令和5年度に策定した「町立別海病院経営強化プラン」の見直しを進め、立ち位置のしっかりしたプランとするよう、早期に見直し案を提示してほしい。

別海病院の健全運営に向けた施策について、引き続き調査していく。

(4) 小中一貫教育及び別海高等学校の魅力向上や支援事業について（教育委員会）・・・調査継続

①別海高等学校教育支援事業について

寄宿施設は、平成30年4月1日からスタートし、令和10年3月31日までの10年間で契約しているが、以降は、施設の老朽化や資材、経費の高騰により経営が困難になるなどの状況を考慮し、見直しや中止等の判断ができるように短い年度での契約を考えているとのこと。

現在の施設は、別海高校から約3kmの距離があり、坂道もあることから通学が大変だとの声がある。

新たな寄宿施設の設置などについても、生徒の確保及び快適な高校生活の支援のため、計画の対象から除外せずに広い視野で検討を進めてもらいたい。

また、安全に使用するため、寄宿施設の耐用年数をしっかりと把握して事業を進めてもらいたい。

本件については、引き続き調査していく。

(5) その他

視察調査について、高齢者の移動手段の調査として、小清水町の「こしもタクシー」、義務教育学校の調査として、斜里町の学校を視察先の候補地として検討していく。